

保健センターについて

保健センターは、多摩キャンパスでは2号館2階に、後楽園キャンパスでは「保健センター理工学部分室」として1号館1階、市ヶ谷キャンパスでは「保健センター市ヶ谷分室」として1号館1階に位置し、学生及び教職員の『健康管理』と『医業』を二つの柱として行っています。学生諸君は、入学後、定期健康診断の際に初めて保健センターとの関わりを持つことになります。保健センターは中学・高等学校の保健室とは異なり、医師が診察する診療所機能（薬剤師、検査技師、保健師、看護師、放射線技師）を備えたものです。

『健康管理』

◎学生定期健康診断

学校保健法は、『……、学生並びに教職員の健康の保持増進を図り、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資すること目的とする』と定めています。本学では、この法に則って、毎年4月の初旬に学生定期健康診断を実施しています。

したがって、大学は年に1回の定期健康診断の実施を、学生諸君は（健康診断の）受診が義務づけられているのであります。

未受診の学生で病気の発見や治療が遅れ、気づいたときには快復しがたい段階まで進行し、休学を余儀なくされるケースもあり、本人はもとより家族や友人に迷惑（感染症等）がかかる場合もあります。

また、定期健康診断を受診しないと授業等で必要な臨時健康診断も受診できません。

学生諸君は年に1回の健康チェックの機会でもあり、毎年忘れることなく受診することが必要です。

◎健康診断証明書

4月の定期健康診断を受診した学生のみに発行します。

定期健康診断を受診しないと、就職・奨学金・スポーツ大会・アルバイト等に必要な「健康診断証明書」が発行できません。外部医療機関での健康診断と証明書は大学（1通100円）と違い、何十倍もの高額負担となるため、毎年、未受診で後悔している学生が多く見受けられます。

（毎年「白門ちゅうおう」冬季号に健康診断案内を掲載）

◎二次検診（精密検査）

二次検診は、定期健康診断の結果、新たに所見のある学生及び前年度から経過を観察している学生に対して、健康で充実した学生生活を過ごすため、病気の予防・早期発見・治療を、保健センターと外部医療機関の協力で実施しています。

内訳は「循環器系」「腎・泌尿器系」「呼吸器系」「代謝系」「その他」です。

保健センターで実施している検査項目は、胸部X線撮影・血圧測定・超音波検査・心電図検査・尿検査・血液検査等です。二次検診対象者は、全学生数の約4%（1300人）前後です。

保健センターでは、対象者の健康への動機づけや、健康な身体で社会に巣立ってほしいとの思いから実施しています。

『医業』

◎診療

「健康管理」（定期健康診断・二次検診等）と、もう一方の柱である「診療」は、学生・教職員（テナントの人・見学者・受験生なども含む）に対して、より質の高い「健康」サービスとバックアップを行うことを目的としています。

現在、診療は内科を主として感冒及び腹痛などの消化器系の疾病をはじめとして、高血圧症や高脂血症・胃潰瘍などの慢性の疾患、授業時間・課外活動での怪我、通学時のバイク・自転車の事故等の外傷に対応し、外部医療機関での医療の必要性がある場合は、適宜紹介するなどの措置をとっています。

また、社会環境がますます複雑化するなかで、適応不全に陥り、精神的に不安定な学生も見受けられます。そのような学生に対しては、多摩キャンパスでは学生相談課、後樂園キャンパスでは学生生活課で専門医が相談および治療にあたっています。

保健センターの診療受付時間は、つぎのとおりです。（保険証不要）

なお、休業期間中等の診療時間については、掲示等でお知らせします。

校 舎	場 所	診療時間
多摩キャンパス TEL.0426-74-2760	2号館2階 保健センター	(月)～(金) 10:00～11:30
		13:00～16:30
		17:30～19:20
(土)	10:00～11:50	
多摩キャンパス TEL.0426-74-2760	1号館1階 保健センター理工学部分室	(月)～(金) 13:00～18:50
		(土) 10:00～12:50
多摩キャンパス TEL.0426-74-2760	1号館1階 保健センター市ヶ谷分室	(月)～(金) 13:00～18:50

中央大学ホームページ <http://www.chuo-u.ac.jp/>

保健センター <http://www2.tamacc.chuo-u.ac.jp/hoken/>

◎診療費

保健センターの診療は、主として学生・教職員が対象のため保険医療機関としての認可が受けられません。本学では、「中央大学保健センター診療費等に関する基準」を制定し、診察料（初診料・再診料）は大学が負担、薬剤料は保険料金に準じた額を徴収、諸検査は保険料金の半額とするなど、学生の費用負担の軽減を図ってきています。

◎医療費援助

正課授業（体育実技、実験・実習等）でけがをした場合は「中央大学学生医療費援助規程」に基づいて医療費の援助を行っています。

本学の保健センターの特徴

生活環境の変化は、健康管理においても従来の結核志向型から年々低年齢化している生活習慣にともなう疾病（生活習慣病＝糖尿病・脂肪肝・高脂血症・高血圧症等）に移行しています。

そこで、本学では生活習慣病の予防・早期発見・早期治療に努めています。「健康」の基本を食習慣と運動習慣と捉え、特に食行動の見直しのため、肥満度+30%以上の学生に対して、医師・

管理栄養士によるグループ指導を行い、肥満度+50%以上の学生には、血液検査・血圧測定・腹部超音波検査（指示されたもの）・心電図検査・胸部X線検査・医師及び管理栄養士による個人指導を実施してきました。今年度は、腹部超音波検査も導入し、生活習慣病と関連が深い内臓脂肪を画像で診断することを可能とします。内臓脂肪の克服は、中年以降きわめて困難となるため若いうちに予防することが大切であるからです。

また、日常的な相談には保健師・看護師がフォローにあたり、体脂肪計・食品模型を使用し、指導内容を分かり易いものにし、一定の成果を得ています。学生が自分で食事や運動の記録をとることにより、「健康」への参加型となり、自覚を促すことにつながっています。

保健センターでは、各自の「健康」への自覚を促し、充実した学生生活と健康な身体で社会に巣立って貰ってもらうため、健康とみられる一般学生についても生活習慣病の予防、健康教育、保健指導、体脂肪測定等を行っています。

先に述べたもののほか、主なものは、つぎの健康支援を実施しています。

事 項	主な内容
① 定期健康診断実施後の相談	健康相談・有所見の認識
② 食品模型の展示	日常のカロリー摂取量の把握
③ ビデオ保健指導	視聴覚教育（貸し出しも実施）
④ 体脂肪測定	体内に貯蔵されている脂肪の測定・外見では見つからない肥満の発見・不要なダイエットの防止への働きかけ
⑤ 予防接種	破傷風
⑥ 臨時健康診断	電離放射線・DNA・シーズンコース・サークル活動等（定期健康診断を受診している学生）
⑦ 各種行事への救護活動	入学・卒業式・スポーツ大会・大学祭
⑧ 機関誌への健康情報の提供	医師・保健師・薬剤師・看護師等によるタイムリーな健康情報の掲載
⑨ 書籍による健康情報の提供	診療待ち時の閲覧のほか貸し出しも実施
⑩ ホームページによる健康情報の提供	中央大学ホームページに保健センターコーナーを開設し健康情報・近隣医療機関・夜間医療機関・お知らせ等掲載
⑪ 年報の発行	保健センターのかかわる業務についての集大成

今後の保健センター

今後、ますます複雑化するであろう社会環境のなかで、中央大学を支えていく人材は「健康」であることにより、勉学に、教育・研究に、スポーツに邁進することが出来るのでしょうか。

保健センターが担う学生・教職員への「健康サービス」の向上は、難問が山積している大学のなかでも、重要な課題であると認識しています。

一つ一つの身近なことから始める（限界はあると思うが）ことにより、微力ながらスタッフ一同、学生・教職員の「健康サービス」の充実を図っていきたいと考えています。

また、学生・教職員が健康相談等で気軽に保健センターに立ち寄れるよう、スタッフ一同、更に努力していく所存です。